

日本学術会議 公開シンポジウム

百寿社会に生き残るための
情報学的生存技術

主催：日本学術会議 情報学委員会 環境知能分科会

後援：芝浦工業大学、日本工学会、日本経営システム学会、日本開発工学会、
情報処理学会、IEEE 東京支部

百歳を超えるセンテナリアンも含めた社会システムをデザインするには、人材を中心とした政策だけでは十分ではありません。センテナリアンの体力・知力を補完し、かつ次世代若手のコミュニケーションを活性化させる医学的・工学的支援のための科学・技術研究の進展と、若者と100年を超える人生を送るであろう子供達のQOLを支えるコミュニティ形成が不可欠です。

本シンポジウムでは、百寿社会の生きにくさを解決するための情報学的生存技術について、識者、一般の方々と交えて熱く議論します。

<開会挨拶> 萩田紀博（日本学術会議第三部会員、大阪芸術大学教授）

<講演1> 「情報空間と物理空間の距離ギャップから見た百寿社会の多様性」

土井 美和子（日本学術会議連携会員、国立研究開発法人情報通信研究機構・監事）

<講演2> 「百寿社会に向けてのこれまでの活動と展望」

伊藤 一彦（BCC株式会社 代表取締役社長）

<講演3> 「情報学的生存技術」

西田 眞也（日本学術会議第一部会員、京都大学教授）

橋本 隆子（日本学術会議連携会員、千葉商科大学教授）

平田 貞代（日本学術会議連携会員、芝浦工業大学准教授） 他

環境知能分科会メンバーからの情報学的生存技術の個別発表

<パネルディスカッション>

入場
無料

（定員になり次第締め切り）

日程 2019年 11月2日（土）

時間 13:00～17:00

会場 芝浦工業大学芝浦キャンパス
JR山手線・京浜東北線田町駅芝浦口から徒歩3分
都営地下鉄・三田線・浅草線三田駅から徒歩5分

申し込み方法・連絡先

以下の申し込みサイトより申込み

<https://www.nadasemi.jp/kankyo/>

担当：橋本 隆子（日本学術会議連携会員、千葉商科大学）

takako@cuc.ac.jp

